

## G-7奨学財団 令和8年度 奨学金助成事業 【大学院生・学部生対象】

**大学推薦** 【公益財団法人 G-7奨学財団】

他団体奨学金との併給可

- 募集対象 ①G-7奨学財団の示す学力基準、家計基準を満たす者。  
(学力基準・家計基準は G-7奨学財団 HP より確認できます。<https://g-7foundation.or.jp/syougaku.html>)
- ②令和8年度に本学に在籍し、学業優秀かつ学修意欲があり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助を必要とすること。
- ③日本国籍を有していること。
- 採択件数： 110件程度
- 金額・支給期間： **給付 上限 120万円／年額 ・ 令和8年4月～令和9年3月(1年間)**
- 応募期限(申請者⇒大学) : **令和8年2月27日(金)**
- 応募方法： クラウドポータルサイトより申請書類をダウンロードし、必要書類を整えた上で、応募期限までに、学生支援課へ提出してください。申請方法の詳細はクラウドポータルサイトの添付ファイル「G-7 奨学財団 令和8年度奨学金助成事業の申請方法」をご確認ください。

揭示期限: 応募期限まで

令和8年1月21日 学生支援課奨学支援担当  
TEL 025-521-3286

## G-7 奨学財団 令和8年度奨学金助成事業の申請方法について

公益財団法人 G-7 奨学財団の奨学金助成事業の概要や採用選考スケジュールについては、G-7 奨学財団の HP をご確認ください。

【G-7 奨学財団 奨学金助成事業】 <https://g-7foundation.or.jp/syougaku.html>

### 1. G-7 奨学財団 令和8年度奨学金助成事業の推薦について

本奨学金は、大学を通して G-7 奨学財団へ申請書類を提出します。

申請者から大学へ提出された申請書類について、G-7 奨学財団 HP の「令和8年度定期公募奨学金助成」に掲載の「4. 申請者の要件」「5. 応募資格」を満たしているか、大学にて選考を行います。選考の結果、申請者要件、応募資格を満たす者を G-7 奨学財団へ推薦します。G-7 奨学財団への推薦結果については、4 月中旬までにメールにて通知します。

### 2. 申請受付期限

**令和8年2月27日（金） 17時15分まで**

※「4. 提出書類 ◎申請受付期限（令和8年2月27日（金））までに提出する書類（①～④）」の受付期限です。

### 3. 申請書類の作成及び提出について

以下の(1)～(6)の順に申請を進めてください。

**申請受付期限（令和8年2月27日（金））までの手続き (1)～(2)**

- (1)交付申請書一式（Word ファイル）をパソコン入力で作成し、推薦書及び署名・捺印欄は空欄の状態で、申請期限（2/27（金））までに学生支援課（syogaku@juen.ac.jp）へメールにて提出する。（申請書類の内容を確認し、不備がある場合は修正を依頼します。）
- (2)交付申請書の添付書類（「学業成績証明書」、「収入に関する証明書」、証明写真（裏面に氏名記入））を紙面にて申請期限（2/27（金））まで学生支援課へ提出する。

**申請受付期限までに書類を提出した後の手続き (3)～(6)**

- (3)確認・修正後の交付申請書一式（Word ファイル）を学生支援課からメールにて受け取る。
- (4)指導担当教員の先生へ推薦書の推薦理由の入力及び推薦者署名の署名・捺印を依頼する。  
（申請書類は片面印刷してください。）
- (5)奨学金申請書の申請者署名及び身元保証人署名の欄に署名・捺印する。  
誓約書に署名・捺印する。  
（身元保証人署名欄は必ず身元保証人の方が署名・捺印してください。）
- (6)交付申請書一式（A4 片面印刷、署名・捺印付き）を学生支援課窓口へ提出する。

## 4. 提出書類

◎申請受付期限（令和8年2月27日（金））までに提出する書類（①～④）

### ①交付申請書一式（Word ファイル）

#### ◆交付申請書一式

- ・奨学金申請書
- ・奨学金理由書
- ・家庭状況調査書（1/2）
- ・家庭状況調査書（2/2）
- ・推薦書

\*記入例を参考に作成すること。推薦書及び署名・捺印欄は空欄で提出。

#### ◆交付申請書一式は学生支援課（syogaku@juen.ac.jp）へメールに添付し提出してください。

メールの件名、Word ファイル名は、以下のとおりとしてください。

メールの件名     G-7 奨学財団申請書（学籍番号・氏名）

Word ファイル名 交付申請書（学籍番号・氏名）

### ②学業成績証明書（紙）

\*教務課前の証明書発行機より印刷。免P生の場合は、大学院学校教育研究科の成績のみ提出。

### ③収入に関する証明書（紙）

- ・令和7年1月～12月の収入に関する証明書を提出してください。
  - ・申請者本人を含む18歳以上かつ大学生以上の同一生計の家族の収入に関する証明書が必要です。
  - ・給与所得がある方は令和7年分源泉徴収票のコピーを提出してください。
  - ・事業所得がある方は令和7年確定申告の控のコピーを提出してください。
  - ・所得が0円の方は、令和7年度（令和6年分）非課税証明書を提出してください。
- \*申請受付期限までに揃わない書類についてはいつ提出できるか、学生支援課窓口提出時にお知らせください。

### ④奨学金申請書に貼付する証明写真（紙）

- ・申請時3ヶ月以内の証明写真を使用してください。
- ・サイズは縦4cm×横3cmとしてください。

◎申請受付期限までに書類を提出した後に提出する書類（⑤）

（学生支援課にて交付申請書一式を確認、不備の修正を行った後に提出する書類です。）

### ⑤交付申請書一式（紙（片面印刷））

- ・推薦書に指導担当教員から推薦理由書を入力してもらった交付申請書一式を片面印刷で出力し、各箇所の署名・捺印したものを学生支援課窓口へ提出してください。

## 5. その他

申請に関して、ご不明な点等ございましたら、学生支援課（奨学支援担当）へお問い合わせください。

学生支援課（奨学支援担当）  
TEL：025-521-3286  
E-mail：syogaku@juen.ac.jp

受付番号※	令8奨
受付日※	

※事務局記入欄

申請日 令和8年 月 日

↑ 申請日を入力してください。

公益財団法人 G-7 奨学財団  
代表理事 井上 登志男 殿

申 請 者  
申請者住所 新潟県上越市〇〇××-×  
△△アパート □□号  
在籍 上越教育大学  
学部・学科等 学校教育学部 又は 学校教育研究科  
学年 2年  
氏名 上越 太郎 ㊞

## 令和8年度 奨学金助成事業(大学生、大学院生) 交付申請書

助成金の交付を希望しますので、下記の通り関係書類を添えて申請いたします。  
なお、助成金の交付を受けた場合には、公募要領及び関係規程の定めに従います。

- 申請書類(奨学金助成)
- I 奨学金申請書
  - II 奨学金申請理由書
  - III 家庭状況調査書(1/2)
  - IV 家庭状況調査書(2/2)
  - V 推薦書

- ☆応募に関する注意事項
- ・申請書類の添付書類として学業成績証明書、収入に関する証明書、証明写真の提出が必要です。
  - ・申請書類はパソコンで入力してください。(手書不可)
  - ・令和8年度4月時点の所属大学及び学年としてください。
  - ・予めページ数が制限されている項目については、当該ページ数を超えて記載しないでください。
  - ・「G-7 奨学財団 令和8年度奨学金助成事業の申請方法」についても併せて確認し、作成してください。

申請日 令和8年 月 日

## 奨学金申請書

申請者氏名(フリガナ)	上越 太郎 ( ジョウエツ タロウ )			写真(デジタル写真可)  (縦4×横3cm)  申請時3ヶ月以内  カラー  正面、無帽、無背景  (裏に氏名記入)
生年月日	平成××年1月1日(和暦)			
年齢	××歳(令和8年4月1日時点)			
現住所	〒○○○-○○○○ 新潟県上越市○○××-× △△アパート □□号室			
電話番号	×××-××××-××××			
E-Mail	○○○○@○○○○			
在籍大学(院)名	上越教育大学(大学院生は、上越教育大学大学院)			
学術分野	<input type="checkbox"/> 医学部医学科 <input type="checkbox"/> 医療系(医学科を除く) <input type="checkbox"/> 自然科学系 <input checked="" type="checkbox"/> 人文社会系 <input type="checkbox"/> 芸術系(美術・デザイン・音楽 等)★該当に <input checked="" type="checkbox"/>			
学部・学科等	学校教育学部 又は 学校教育研究科 新潟県上越市山屋敷町1番地			
学年	<input checked="" type="checkbox"/> 学部 大学院( <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士 <input type="checkbox"/> 専門職) <input type="checkbox"/> その他(○○○○) 2 年 ★該当に <input checked="" type="checkbox"/> を入れ学年を記載			
学校所在地	〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地			
奨学金ご担当部署名	学生支援課	電話番号	025-521-3286	
奨学金ご担当者名	竹内 蓮太	E-mail	syogaku@juen.ac.jp	
卒業高校名	全員記入			○○○○年卒
卒業・編入前大学(院)名	(大学院生のみ)			○○○○年卒
学部・学科等	(大学院生のみ)			
直近就労状況/勤務先 (フルタイム 1年以上)	○○××年○月 ~ ○○××年○月 ○○○○学校 ★大学院生該当の方のみ記載			
身元保証人(フリガナ)	上越 一郎 ( ジョウエツ イチロウ )			
申請者との関係	父			
身元保証人住所	〒×××-×××× ○○県○○市○○×××			
電話番号	×××-××××-××××			

上記のとおり、奨学金助成事業に応募書類を添えて申請いたします。

申請者署名: 上越 太郎 印

身元保証人署名: 上越 一郎 印

★申請者及び身元保証人署名は手書きで記載し捺印が必要です。(word提出時は空欄でよいです。)

★奨学金申請理由は全体で3ページ以内(大学等での専攻内容、奨学金応募理由、将来の希望進路・職種その他特記事項、成績を含む)となるように記載してください。各記載スペースは適宜調整してください。

# 奨学金申請理由書

申請者氏名 上越 太郎

在籍大学(院)名	上越教育大学(大学院生は、上越教育大学大学院)
学部・学科等	学校教育学部 又は 学校教育研究科
学年数/標準年数	2年生 / 標準年数 学部は「4」、大学院通常履修は「2」、長期履修は「3」年
大学等での 専攻内容	★専攻の学問の概要及び自身がその学問を専攻する理由や取り組み方について説明してください。
奨学金応募理由	
将来の 希望進路・職種	<p>★将来、日本の社会・経済の発展のために、どのような分野に進み貢献しようと考えているか、その志について記載してください。下記の例も参考に、ご自身の具体的な将来像を示しながら説明してください。</p> <p>■ 産業からの貢献例:ベンチャーの起業による新産業・サービス創出、既存企業のネットワークを活用した新事業創出等</p> <p>■ 学術界からの貢献例:大学・研究機関で IT 関連技術開発や創業研究への従事、教育者として人材育成への従事等</p> <p>■ 行政からの貢献例:国や自治体での政策立案を通じた経済振興等</p> <p>また、これらを実現するため、学生生活でどのような課題に取り組むか等についても触れてください。</p>
その他特記事項	★課外活動や資格、発表論文等があれば記載してください。
直近の成績	<p>学部学生 1 年生 評定平均値    ××</p> <p>(高校3年間全科目の 5 段階評価の成績の平均値)</p> <p>学部学生2年生以上    標準 GPA    ×. ××</p> <p>(直近1年間の標準 GPA)</p>
過去採択実績	令和○年度

家庭状況調査書(1/2)

申請者氏名 上越 太郎

★所得税法上の扶養家族を同一生計者の家族としてください。

(1) 家族の状況(令和8年4月1日時点)(同居 別居を問わない)

家族(申請者本人を含む同一生計の家族全員を記入のこと)						
番号	続柄	氏名	年齢	勤務先名/在籍学校名(学年)	就学者	就学者以外
1	本人	上越 太郎	××	上越教育大学 ×年(大学院生は、上越教育大学院 ×年)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 該当
2	父	上越 一郎	××	〇〇〇〇商事	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 該当
3	母	上越 花子	××	無職	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 該当
4	祖父	上越 和夫	××	無職	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 該当
5	弟	上越 次郎	××	〇〇大学 ×年	<input checked="" type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 該当

(2) 家族全員の所得金額(令和7年1月～令和7年12月までの1年間)

氏名	給与所得	事業所得(確定申告額)	その他の所得	その他の所得の内容
上越 太郎	×××万円	0万円	0万円	給付型奨学金
上越 一郎	×××万円	×××万円	0万円	
上越 花子	0万円	0万円	0万円	
上越 和夫	0万円	0万円	×××万円	年金
上越 次郎	×××万円	0万円	0万円	
-	遺族年金		×××万円	
-	養育費など別生計からの支援		×××万円	
合計	×××万円	×××万円	×××万円	(縦合計記入 要)

※収入証明書(源泉徴収票、確定申告書等(対象期間:令和7年(1月～12月)の所得がわかる書類)を提出してください。成年未満および中等教育を受けている方も記入は必要ですが、収入証明の提出は免除します。

- ★万円未満は切り捨てで記載してください。
- ★奨学金はその他の所得として給付型のみ記載してください。(貸与型は不要)
- ★給与所得は支払金額(控除前)、給与所得以外の所得は収入金額から必要経費を差し引いた金額(所得金額)です。

(3) 特別の事情(該当にチェックをし、必要事項を追記してください。)

項目	該当	非該当
① 申請者は所得税法上の被扶養者である	<input checked="" type="checkbox"/> (扶養者: 上越 一郎 )	<input type="checkbox"/>
② 申請者は第一種障害者に該当する(証明書提出必要)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
③ 生活保護世帯である(証明書提出必要)	<input checked="" type="checkbox"/> (時期: 〇〇××年～)	<input type="checkbox"/>
④ 住民税の非課税世帯である(証明書提出必要)	<input checked="" type="checkbox"/> (時期: 〇〇××年～)	<input type="checkbox"/>
⑤ その他特別の事情があれば記入		

※④は令和7年度非課税証明書(対象期間:令和6年(1月～12月)の所得が成年以上の家族全員が非課税であることとします。成年以上の家族全員の非課税証明書を提出してください。

★②～④について証明できる書類を提出してください。(④は令和6年度 成年以上の家族全員が非課税であることの証名)

【参考】収入証明書について(記入例の家族ではそれぞれ次の書類が必要)

父⇒令和7年分源泉徴収票のコピー、令和7年分確定申告の控えのコピー(給与所得、事業所得のため)

母⇒令和7年度(令和6年分)非課税証明書(所得なしのため)

祖母⇒令和7年分公的年金等の源泉徴収票のコピー(年金所得のため)

本人、弟⇒令和7年分源泉徴収票のコピー(アルバイトのため)

家庭状況調査書(2/2)

申請者氏名 上越 太郎

〔授業料〕

通常履修学生: 535,800 円

長期履修学生: 357,200 円

(1) 令和8年度(8年4月～9年3月)の住居予定を選択してください。

☒ 1人暮らし    ☐ 学生寮/シェアハウス    ☐ 家族同居    ☐ 親戚等宅

☐ その他 \_\_\_\_\_

(2) 令和8年度(8年4月～9年3月) 1年間に必要と考えられる費目(内容)の金額を記入してください。

費目(内容)	金額(万円)
① 入学金、授業料、実習費、教材費等の学校の諸費	60万円
② 資格取得費用、留学費用、研究(発表含む)等の自己負担費用	20万円
③ 家賃、敷金、礼金、火災保険、光熱費等(家族同居以外の場合のみ)	48万円
④ 食費、日用消耗品、通信費等	36万円
⑤ その他	2万円
合計	166万円

(3) 令和8年度(8年4月～9年3月) 1年間の収入の予定を記入してください。

内容	金額(万円)
奨学金 (給付型) 上越教育大学くびきの奨学金( <input checked="" type="checkbox"/> 決定 <input type="checkbox"/> 未決定 ) ★G-7 奨学財団からの奨学金は記載しないでください。	8万円 万円
奨学金 (貸与型) 日本学生支援機構・第二種貸与型( <input checked="" type="checkbox"/> 決定 <input type="checkbox"/> 未決定 ) ( <input type="checkbox"/> 決定 <input type="checkbox"/> 未決定 )	61万円 万円
家族の支援	39万円
本人の収入 時給 1,000円 × 50時間(月) × 12ヵ月(時給の場合) 月給 50,000円 × 12ヵ月 + α(月給の場合)	61万円
合計	169万円
アルバイト等ができない場合はその理由	

(4) G-7 奨学財団 奨学金希望額

金額 120万円

主たる使用用途(目的)

奨学金の使用用途を記載

---



---



---



<<在学生用>>

推薦書

公益財団法人 G-7奨学財団  
代表理事 井上 登志男 殿

奨学金申請者情報（令和8年度4月時点）			
大学(大学院)名	上越教育大学(大学院生は上越教育大学大学院)		
学部・学科等・学年	学校教育学部 又は 学校教育研究科・2年		
申請者氏名	上越 太郎		
推薦情報			
推薦者名	指導担当教員の氏名	学生との関係	指導担当教員
推薦者所属校	上越教育大学	推薦者電話番号	×××-××××-××××
<p>推薦理由</p> <p>学生支援課へ Word ファイルにて交付申請書一式を提出する際は、推薦理由は空欄でよいです。</p> <p>提出された交付申請書一式を学生支援課にて確認し、修正がある場合は不備を修正します。確認後の交付申請書一式をメールにて送付しますので、確認後のもので指導担当教員へ推薦書の入力及び署名・捺印を依頼してください。</p> <p>なお、推薦書の入力及び署名・捺印については、申請者から指導担当教員へ直接依頼してください。</p>			

推薦校記入欄：  
上記の生徒は貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め推薦します。  
日付 令和8年×月×日

推薦者署名  学 長(学部長)名 

↑ 推薦者署名は、A4片面で推薦書を印刷した後、手書きで署名し、捺印してください。

↑ 学長名は学生支援課にて記入するため、記入不要です。

★ゴム印可とします

<<新入生・編入生用>>

★令和8年4月以前の所属先にて記載し、令和8年度の所属大学での承認が必要です。

推薦書

公益財団法人 G-7奨学財団  
代表理事 井上 登志男 殿


奨学金申請者情報(令和8年度4月時点)			
大学(大学院)名	上越教育大学(大学院生は上越教育大学大学院)		
学部・学科等・学年	学校教育学部 又は 学校教育研究科・1年		
申請者氏名	上越 太郎		
推薦情報(令和8年度4月以前の在籍校)			
推薦者名	指導担当教員の氏名	学生との関係	指導担当教員
推薦者所属校	〇〇大学	推薦者電話番号	×××-××××-××××
推薦理由	学生支援課へ Word ファイルにて交付申請書一式を提出する際は、推薦理由は空欄でよいです。 提出された交付申請書一式を学生支援課にて確認し、修正がある場合は不備を修正します。 確認後の交付申請書一式をメールにて送付しますので、確認後のもので指導担当教員へ推薦書の入力及び署名・捺印を依頼してください。 なお、推薦書の入力及び署名・捺印については、申請者から指導担当教員へ直接依頼してください。		

推薦校記入欄:

上記の生徒は貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め推薦します。  
日付 令和8年 月 日

↓ 令和8年度4月以前の所属先の学長名を記入。

推薦者署名 

校長/学長(学部長)名 

↑ 推薦者署名は、A4 片面で推薦書を印刷した後、手書きで署名し、捺印してください。

★ゴム印可とします。

令和8年度在籍大学追認欄:

上記の内容を確認し、貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを  
日付 令和8年×月×日

↓ 学長名は学生支援課にて記入するため、記入不要です。

学長(学部長)名 

## 誓 約 書

私は、公益財団法人 G-7 奨学財団(以下「財団」と云う。)の令和8年度の奨学金助成事業の給付を受けるに 当たり、下記の事項を遵守することを誓約いたします。

### 第 1 項 奨学金の支給休止又は廃止若しくは返還

下記の(1)及び(2)に定めるいずれかに該当することになった場合は、奨学金の支給を休止又は廃止する。

(2)に定める場合には、奨学金の一部又は全部を返還する。

#### (1) 奨学金の支給休止

次に定める事項に該当する場合においてその理由及び原因によっては奨学金を廃止する。

- ① やむを得ない事情により大学を休学又は長期にわたって欠席したとき
- ② 学業又は素行などの状況により指導上必要があると認めたとき
- ③ 在学する大学より短期間の停学処分を受けたとき

#### (2) 奨学金の廃止

- ④ 傷い疾病などのため成業の見込みがなくなったとき
- ⑤ 学業成績又は操行が不良となったとき
- ⑥ 在学する大学における学籍を失ったとき
- ⑦ 在学する大学より長期間の停学処分を受けたとき
- ⑧ 財団の事務局と連絡が取れなくなったとき又はその指示や指導に従わなかったとき
- ⑨ 財団の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけたとき
- ⑩ 奨学金事業に関して財団に対する虚偽の申請または報告があったとき
- ⑪ 知りえた個人情報等を第三者に漏洩した事実があったとき
- ⑫ 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

### 第 2 項 財団への報告義務

次に定める場合、速やかに財団事務局へ届け出ること

- ① 前第 1 項に定める状況及び状態になったとき
- ② 在籍校、住所、電話番号やメールアドレス等、連絡先を変更したとき
- ③ 進級できなかったとき
- ④ 休学又は復学したとき
- ⑤ 退学したとき
- ⑥ その他、財団が奨学金の継続にあたって必要となると認める事項に変更があったとき

### 第 3 項 財団による確認及び判断

前第 2 項に定める①及び③から⑥の場合、財団は事実を確認し、第 1 項に従い奨学金の支給休止 又は支給の再開若しくは廃止を判断して、それを実施する。

令和8年4月1日

住 所 新潟県上越市△△アパート □□号室

氏 名 上越 太郎

⑨

↓ 申請者は手書きで記載し捺印が必要です。(Word 提出時は空欄でよいです。)

別紙) 家庭状況調査書(1/2) (2)家族全員の所得金額 記入について 1 名ずつ、下記緑マーカー一部の金額を記入してください。

☆給与所得のみで確定申告を行っていない方・・・給与所得の源泉徴収票の支払金額(控除前)

複数の勤務先がある場合は合計の金額を記入してください。

令和 年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受ける 者	住所又は居所	(受給者番号)									
		(個人番号)									
		(役職名)									
		氏名 (フリガナ)									
種別		支払金額		給与所得控除後の金額 (調整控除後)		所得控除の額の合計額		源泉徴収税額			
		千円 円		千円 円		千円 円		千円 円		千円 円	
(源泉)控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)		16歳未満扶養親族の数		障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数	
老人		控除の額		特定		老人		その他		特別	
有		千円 円		人 従人		人 従人		人 従人		人 従人	
千円 円		千円 円		千円 円		千円 円		千円 円		千円 円	
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額					
千円 円		千円 円		千円 円		千円 円		千円 円		千円 円	
(摘要)											

☆(一部給与所得がある方を含め)確定申告を行った方・・・事業(確定申告)所得金額

収入金額から必要経費を差し引いた金額(所得金額)

税務署長 令和 年 月 日 令和 0 年分の 所得税及び復興特別所得税の 申告書B

住所	個人番号	フリガナ	氏名	性別	職業	年齢・年齢	世帯主の氏名	世帯主との続柄
令和 年 月 日	生年月日	性別	職業	年齢・年齢	世帯主の氏名	世帯主との続柄	電話番号	自宅・勤務先・携帯
(単位は円) 種類 収入金額 必要経費 所得金額 税率の表示 税率 整理番号								
収入 金額 等	事業等	⑦						
	業農	⑧						
	不動産	⑨						
	利子	⑩						
	配当	⑪						
	給与	⑫						
	雑	⑬						
	その他	⑭						
	総合課税	⑮						
	短期	⑯						
	長期	⑰						
	一時	⑱						
所得 金額	事業等	①						
	業農	②						
	不動産	③						
	利子	④						
	配当	⑤						
	給与	⑥						
	雑	⑦						
	総合課税・一時	⑧						
	合計	⑨						
	社会保険料控除	⑩						
	小規模企業共済等掛金控除	⑪						
	生命保険料控除	⑫						
税 金 の 計 算	課税される所得金額 (①-⑫)又は第三表	26						000
	上の26に対する税額 又は第三表の税	27						
	配当控除	28						
	(特定増収等) 区	29						
	(特定増収等) 区	30						00
	政治等寄付金等特別控除	31						
	住宅借入金等特別控除	32						
	災害減免額	39						
	復興特別所得税額 (26×2.1%)	41						
	所得税及び復興特別所得税の額 (27+41)	42						
	外国税額控除	43						
	源泉徴収税額	44						
申告納税額 (42-44)	45							
予定納税額 (第1期分・第2期分)	46							
第3期分 納める税金 の税額 (45-46)	47						00	
還付される税金	48							
配偶者の合計所得金額	49							
専従者給与(控除)額の合計額	50							
青色申告特別控除額	51							
雑所得・一時所得等の 源泉徴収税額の合計額	52							
未納付の源泉徴収税額	53							

★給与所得(複数)や給与所得と事業所得の両方がある場合は確定申告に基づき、申告書の所得金額の合計額を事業所得の欄に記載してください。